

**JENESYS2020 日インドネシア、東ティモール・オンライン交流  
(テーマ：水産)の記録**

**1. 概要**

【目的】インドネシア、東ティモールの行政官及び漁業関係者が、水産分野における日本国内の関係機関の取り組みについて理解を深め、日本を含む三か国の水産分野関係者の相互交流を行い、ネットワーク構築を図ることを主目的に、本プログラムを実施しました。

【参加者】インドネシア、東ティモールの行政官等 計 99 名

【訪問地】東京都

**【日程】**

このプログラムは、JENESYS2021 日インドネシア行政官・水産関係者、JENESYS201 日東ティモール行政官・水産関係者交流と合同で実施しました。

日付	内容	参加者の質問・反応
2021 年 10 月 7 日 東京都	<p>【ウェビナー・質疑応答】</p> <p>1. 講義 「水産バリューチェーン・水産物の輸出促進」 講師：水産庁加工流通課 課長補佐 番場 晃氏</p> <p>2. 質疑応答</p>	<p>日本の漁業の概要や漁業管理制度の基本的な情報をはじめ、水産物の流通システム、水産バリューチェーン及び日本の輸出戦略に至るまで、詳細な内容の講義に参加者は真剣に耳を傾けていました。質疑応答では「日本国内各地方の水産品の需給の調整、供給連鎖への監視について」「コロナ禍での漁業従事者への体調管理・検査、感染防止対策について」「漁業事業者の後継者不足や高齢化への対策」「水産物輸出戦略について」等、多岐にわたる質問が数多くありました。</p>

**2. 記録写真**

2021 年 10 月 7 日【ウェビナー・質疑応答】	2021 年 10 月 7 日【ウェビナー・質疑応答】

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 東ティモール 行政官

インスピレーションを掻き立てられる講義内容で、とても印象的でした。天然資源利用の最適化、国家の経済、財政収入の拡大に資するために必要となる水産業の発展に関わる計画に、役立つ知識を獲得できました。

#### ◆ インドネシア 行政官

今回のようなプログラムの実施はとても有意義で、世界の各国間で互いに知識と経験を分かち合うことはとても重要だと思います。このプログラムが一過性のものとして終わらず、継続的に参加者同士が意見を交わし疎通を図るきっかけになることを切に願います。今後の展望や、直面する課題を含めた様々なテーマについて、意見交換ができるグループが組織化されることを期待しています。

#### ◆ インドネシア 行政官

興味をそそられる内容であり、大変刺激を受けました。日本政府や関係機関にも支援を受けて、ぜひ訪日プログラム参加を実現したいです。

### 4. 参加者の対外発信

	
<p>2021年10月8日（Twitter） JICEによる行政官・民間企業オンライン交流事業に参加しました。</p>	<p>2021年10月8日（Twitter） 2021年10月7日にJICEによって開催されたJENESYS行政官・民間企業オンライン交流プログラムに参加して、日本の水産業の現状と経営について、多くの学びを得ました。</p>

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）